

動労総連合の旗のもとに結集しよう！ 新しし！労働運動の未来を築く

日刊 動労千葉

86.12.4

No. 2422

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

11・30国鉄労働者全国交流集会—動労総連合結成大会

十一月三十日、東京・日仏会館大ホールにおいて「11・30国鉄労働者全国交流集会」が動労千葉・動労水戸・動労高崎・国労共闘、そして、動労内からの勇気ある決起をとともに喜ぶ六二〇名が会場を埋めつくす中で開催され、十七時すぎからは、歴史的な「国鉄動力車労働組合総連合結成大会」の圧倒的成功をかちとつた。

国労共闘・吉野氏が基調提起

「11・30国鉄労働者全国交流集会」は十五時、国労共闘の仲間から開会が宣言され、冒頭、記録映画「俺たちは鉄路に生きる」第二報の上映が行われた。

そして、高島喜久男氏の挨拶に続いて、国労共闘・吉野元久氏（国労東京）より基調提起が行われ「法案強行採決によって全く新たな全面戦争に突入した。たとえ法案が成立しても、三里塚農民が閣議決定されても二十年以上にわたって自らの土地を武器に農地死守、非協力・実力闘争にたちあがっているように、われわれは、国鉄攻撃の一方の当事者として分割・民営化にあくまで反対し、阻止へ拒否権を発動して闘いぬく」と力強い提起を行った。これに呼応して国労共闘・交流会議に結集する十地本の代表が闘いの報告と決意を行った。

動労総連合結成大会へ

十七時三〇分、結集した全ての仲間が注目する中、動労水戸・辻川委員長が登壇し「国鉄動力車労働組合総連合結成大会」の開会挨拶にたち「本大会をもって動労大改革にうつてよう」と訴えた。議長に大須賀・成田支部書記長が選出され、この総連合結成へむけて活動してきた準備委員会より水野・動労千葉副委員長から「総連合」結成へ今日までの経過が述べられた。

事務局長の布施・動労千葉書記長より「総連合」運動方針・予算が提案され満場一致で確認された。

国鉄動力車労働組合総連合

水野委員長が決意表明



続いて、役員・委員が選出。執行部が登壇し、水野執行委員長が代表し、「水戸・高崎の若い仲間達が今日の情況

国鉄動力車労働組合総連合 役員

執行委員長	水野正美	49	動労千葉
執行副委員長	中江昌夫	54	動労千葉
書記長	辻川慎一	29	動労水戸
執行委員	布施宇一	44	動労千葉
	和田山繁	36	動労高崎連帯
	山口敏雄	49	動労千葉
	大須賀昭男	42	動労水戸
	福田弘行	28	動労水戸
会計監査	鈴木義之	28	動労水戸
	丸山隆	26	動労高崎連帯
	西森巖	45	動労千葉